

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

<市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

感謝の心を忘れずに活力ある都市の創造に向けて

4月の市議会議員選挙では、皆さまの温かいご支援を賜り5期目の当選を果たすことができました。力強いご協力、ご尽力に心から感謝申し上げます。

37万5千人の人口を抱える県内最大自治体の議員として、初心を忘れず、引続き全力で活動していく所存であります。

富岡市長は、「地方の一大中心都市としての活力と機能を持った、さらに新しい高崎を目指したい」と大胆でスピード感のある市政運営を進めていくことを基本政策として掲げています。市民に最も身近な行政団体として、教育環境や福祉施設の充実、安心・安全で豊かな都市づくりなど、市民ニーズを的確に捉えた透明性の高いサービスが提供されるよう、行政当局と市議会は住民福祉の向上に向けて共に切磋琢磨することが重要と考えています。

将来に夢と希望の持てる、市民が主役のまちづくりを推進できるよう取り組んでまいりますので、これからもご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

6月市議会定例会報告

平成27年第3回市議会定例会は、6月11日から25日までの15日間の会期で開かれました。

本定例会では、請負契約締結について(高崎市立第一中学校屋内運動場改築工事)、財産の取得について(大型バス)、平成27年度高崎市一般会計補正予算(第2号)、人権擁護委員候補者の推薦についてなどの議案の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ19億4,474万円を追加し、総額を1,620億474万円としました。

《4つの特別委員会を設置》

本市議会には4つの常任委員会が設置されていますが、さらに特定の案件を調査するために、「都市集客施設建設調査」、「環境施設建設調査」、「防災・危機管理対策」、「子育て支援・人口減少対策」の4つの特別委員会を設置しました。

高橋みなおは、全国の地方都市で共通の課題となっている「子育て支援・人口減少対策」特別委員会の委員として積極的に取り組んでまいります。



六月定例会

市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十一人の議員が行い、高橋みなおは初日に登壇し質問しました。以下、概要を報告します。

富岡市政2期目「新しい高崎の創造に挑む」について

質問 市長2期目にあたり、4年間の成果を基にさらなる高崎の発展を願い、「安心・安全・健康な市民生活を守り豊かにする」、「高崎のまち・地域経済・企業・商店を元気に」という目的を達成するために多岐にわたる細かな施策展開が掲げられ、今後も政策を実行する中で、市民に対して夢と希望のもてるメッセージを送り続けてほしいと考える。

答弁 集客施設整備や大型商業施設の誘致、スマートIC周辺開発等も重要であると認識しているが、それだけで本市が選ばれる都市になるとは考えにくい。「新しい高崎の創造に挑む」では、どのような将来像を描いているのか。

質問 国や県からの指示を待っているのではなく、できることは何でも先取りして実施していると自負している。

選ばれる都市となるためには、総合的な施策展開が必要である。女性が活躍し、子育てが安心してできるための障害となっているものを一つひとつ解決し、環境づくりにつなげていきたい。

本市は高速交通網の結節点として機能する「ハブ都市」となっているが、さらに産業のハブとしても発展させていく。現在の交流人口は年間2千5百万人と推計され、数年後には4千万人になると考えられている。雇用吸収力の高い企業誘致に努力し、通勤だけでなく定住にもつながる、住んでみたいまちづくりを進め、交流人口増へ結び付けていく。

都市集客施設周辺のインフラ施設整備について

質問 都市集客施設整備事業においては、問題提起や住民要望なども把握する中、生活環境を含めた整備についての見解は。

答弁 住宅街への車や歩行者の進入が無いよう計画・立案している。また、駐車場の問題については、東口線の両側に分散型の駐車場を整備する配置計画を立てており歩行者の交通対策として、ペDESTリアンデッキの延伸について計画している。

質問 懸念される課題に雨水対策があると

考えている。県が計画中のコンベンション施設建設と合わせれば合流式と分流式が分かれる地域であり、競馬場跡地には二つの農業用水も横断して長年の懸念事項であるが、どのような対応を図るのか。

答弁 貯留槽や調整池に雨水を一時貯めておき、時間をかけ放流する計画である。施設のオープンまでに必要な改修を進めていく。

質問 首都圏ではこのような大型公共施設建設においては、下水道の調査を行っており、本市の下水道施設の長寿命化計画を中心市街地から都市集客施設周辺にも拡大することが早急に求められていると考える。国の支援制度も確立されており重要な政策と考えるが。

答弁 集客施設周辺の下水道管もまもなく布設後五十年を迎えるので、長寿命化対策の状況や調査結果等を踏まえ、国の補助金も活用しながら順次進めていきたい。

♪ 後記 ♪

改正道路交通法が六月一日に施行されたことにより、自転車の安全対策が大きく変わりました。信号無視、酒酔い運転などはもちろん、傘さしや携帯電話を使用しながらの運転で事故を起こすなど危険な運転を繰り返す人に安全講習を義務付けるといふものです。

便利で気軽な乗り物というイメージの自転車ですが、ヒヤリとした経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。もうすぐ夏休み、安全で楽しく過ごせるよう心がけたいものです。